

1 概要

令和6年10月1日現在の住民基本台帳に基づく浜松市の総人口は785,210人で、前年に比べ4,612人(0.58%)減少している。世帯数は357,979世帯で、前年に比べ3,182世帯(0.90%)増加している。

性別でみると、男性が391,611人(構成比49.9%)で、前年に比べ2,191人(0.56%)減少している。女性は393,599人(同50.1%)で、前年に比べ2,421人(0.61%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.5で、前年に比べ0.1ポイント増加している。

1世帯当たりの平均人員は2.19人で、前年と比べ0.04人減少している。

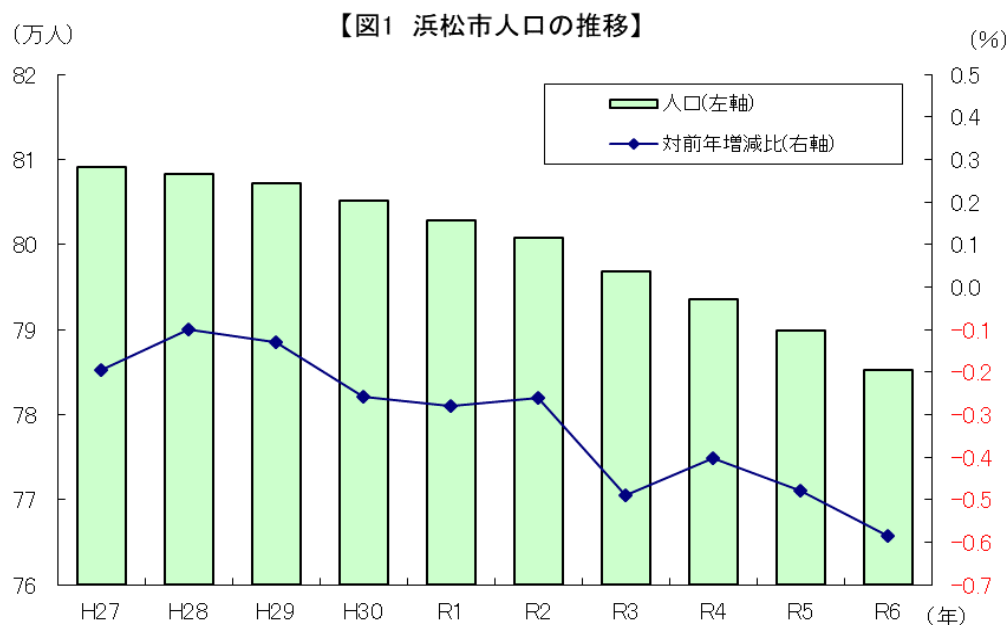


表1 浜松市人口・世帯数の推移

年	総 人 口			日 本			
	総 数	前年比%	男	女	世帯数	総 数	前年比%
平成 27年	809,065	△ 0.19	402,309	406,756	327,467	788,190	△ 0.19
28	808,249	△ 0.10	402,184	406,065	330,765	786,831	△ 0.17
29	807,199	△ 0.13	401,711	405,488	333,930	784,658	△ 0.28
30	805,110	△ 0.26	400,835	404,275	337,238	781,147	△ 0.45
令和 元年	802,856	△ 0.28	399,971	402,885	340,896	777,581	△ 0.46
2	800,760	△ 0.26	399,008	401,752	344,732	775,373	△ 0.28
3	796,829	△ 0.49	396,947	399,882	347,652	771,605	△ 0.49
4	793,615	△ 0.40	395,476	398,139	351,337	767,235	△ 0.57
5	789,822	△ 0.48	393,802	396,020	354,797	761,704	△ 0.72
6	785,210	△ 0.58	391,611	393,599	357,979	755,342	△ 0.84

表2 浜松市人口・世帯数等

区 分	令 和 5 年 10 月 1 日							
	総 数	男	女	性比	世帯数	1世帯当たり 平均人員	総 数	前年比%
総 人 口	789,822	393,802	396,020	99.4	354,797	2.23	785,210	△ 0.58
日本人住民	761,704	379,713	381,991	99.4	340,443	2.24	755,342	△ 0.84
外国人住民	28,118	14,089	14,029	100.4	14,354	1.96	29,868	6.22

注) 令和5年12月に公表された「全国都道府県市区町村別面積調」により、浜松市の面積が変更になりました。

2 日本人住民数と外国人住民数

令和6年10月1日現在の日本人住民数は755,342人で、前年に比べ6,362人(0.84%)減少している。世帯数は342,163世帯で、1,720世帯(0.51%)増加している。

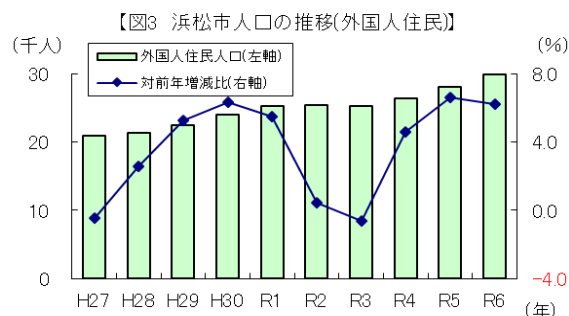
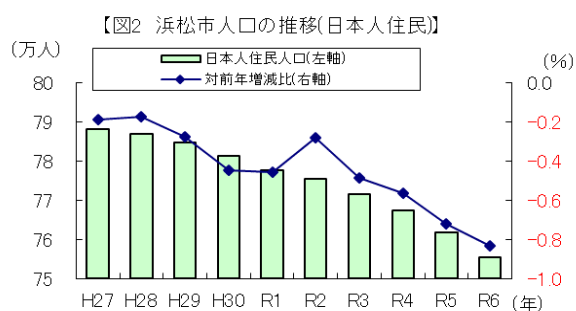
性別でみると、男性が376,504人(構成比49.8%)で、前年に比べ3,209人(0.85%)減少している。女性は378,838人(同50.2%)で、前年に比べ3,153人(0.83%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.4で、前年と同様であった。

1世帯当たりの平均人員は2.21人で、前年に比べ0.03人減少している。

令和6年10月1日現在の外国人住民数は29,868人で、前年に比べ1,750人(6.22%)増加している。世帯数も15,816世帯で、前年に比べ1,462世帯(10.19%)増加している。

性別でみると、男性が15,107人(構成比50.6%)で、前年に比べ1,018人(7.23%)増加、女性は14,761人(同49.4%)で、前年に比べ732人(5.22%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は102.3で、前年に比べ1.9ポイント増加している。

1世帯当たりの平均人員は1.89人で、前年に比べ0.07人減少している。



人 住 民			外 国 人		人 住 民		
男	女	世帯数	総 数	前年比%	男	女	世帯数
392,182	396,008	318,343	20,875	△ 0.46	10,127	10,748	9,124
391,796	395,035	321,240	21,418	2.60	10,388	11,030	9,525
390,767	393,891	323,664	22,541	5.24	10,944	11,597	10,266
389,077	392,070	326,104	23,963	6.31	11,758	12,205	11,134
387,419	390,162	328,710	25,275	5.48	12,552	12,723	12,186
386,464	388,909	332,478	25,387	0.44	12,544	12,843	12,254
384,535	387,070	335,547	25,224	△ 0.64	12,412	12,812	12,105
382,387	384,848	338,333	26,380	4.58	13,089	13,291	13,004
379,713	381,991	340,443	28,118	6.59	14,089	14,029	14,354
376,504	378,838	342,163	29,868	6.22	15,107	14,761	15,816

令 和 6 年 10 月 1 日									
男	前年比%	女	前年比%	性比	世帯数	前年比%	1世帯当たり 平均人員	面積km ²	人口密度
391,611	△ 0.56	393,599	△ 0.61	99.5	357,979	0.90	2.19	1,558.11	504
376,504	△ 0.85	378,838	△ 0.83	99.4	342,163	0.51	2.21	-	-
15,107	7.23	14,761	5.22	102.3	15,816	10.19	1.89	-	-

3 行政区別人口

行政区別に人口・世帯数をみると、人口・世帯数ともに最も多いのは中央区で、605,256人(構成比77.1%)、282,326世帯(同78.9%)である。また、人口・世帯数ともに最も少ないのは天竜区で、25,001人(同3.2%)、11,808世帯(同3.3%)である。

人口密度も同様に、最も高いのは中央区の2,255人/k㎡、最も低いのは天竜区の26人/k㎡である。
性比（女性を100とした場合の男性の割合）も同様に、最も高いのは中央区の99.8、最も低いのは天竜区の95.5である。

【図4 行政区別人口・世帯数(構成比)】

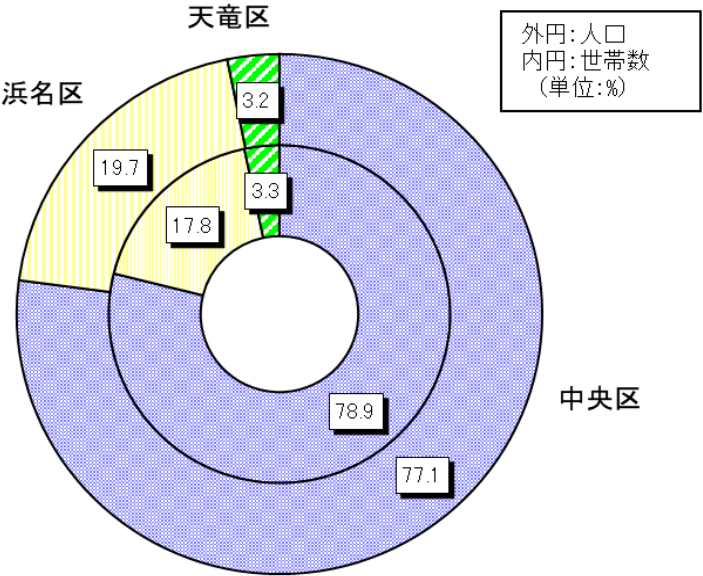


表3 区別の人口・世帯数等

令和5年10月1日			令和6年10月1日											
区別	総数	世帯数	区別	総数		男	女	性比	世帯数	前年比%	1世帯 当たり 平均人員	人口 構成比	面積km ²	人口密度
				前年比%										
中区	234,943	115,783	中央区	605,256	-	302,314	302,942	99.8	282,326	-	2.14	77.1	268.42	2,255
東区	129,244	57,339	浜名区	154,953	-	77,085	77,868	99.0	63,845	-	2.43	19.7	345.85	448
西区	107,328	45,786												
南区	101,199	45,572												
北区	91,715	38,750												
浜北区	99,712	39,641	天竜区	25,001	△ 2.65	12,212	12,789	95.5	11,808	△ 0.99	2.12	3.2	943.85	26
天竜区	25,681	11,926												

4 年齢別人口

年齢別に人口をみると、前年に比べ、年少人口（15歳未満）は93,191人（構成比11.9%）で2,861人、生産年齢人口（15歳～64歳）は465,360人（同59.3%）で2,291人それぞれ減少しているのに対し、老年人口（65歳以上）は226,659人（同28.9%）で540人増加している。

行政区別に構成比をみると、年少人口が最も高いのは浜名区（12.5%）で、最も低いのは天竜区（7.0%）である。生産年齢人口が最も高いのは中央区（60.4%）で、最も低いのは天竜区（45.5%）である。老年人口が最も高いのは天竜区（47.6%）で、最も低いのは中央区（27.7%）である。

表4 年齢3区分別人口

区 分	令和5年	令和6年			
	浜松市	浜松市	中央区	浜名区	天竜区
年少人口 (15歳未満)	96,052	93,191	72,065	19,381	1,745
構成比(%)	12.2	11.9	11.9	12.5	7.0
生産年齢人口 (15歳～64歳)	467,651	465,360	365,522	88,474	11,364
構成比(%)	59.2	59.3	60.4	57.1	45.5
老年人口 (65歳以上)	226,119	226,659	167,669	47,098	11,892
構成比(%)	28.6	28.9	27.7	30.4	47.6

年齢構成指数をみると、年少人口指数は20.0（前年20.5）、従属人口指数は68.7（同68.9）で、前年に比べ減少している。老年人口指数は48.7（同48.4）、老年化指数は243.2（同235.4）で、前年に比べ上昇している。老年化指数の上昇が著しく、高齢化が進んでいることが分かる。

行政区別にみると、老年人口指数・従属人口指数において天竜区が突出して高く、生産年齢人口が少ないことを示している。老年化指数は全ての区で230を超えており、老年人口が年少人口を上回っていることが分かる。

【人口の年齢構成の特徴を表す指数】

- 年少人口指数（生産年齢人口に占める年少人口の割合）

$$\frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$
- 老年人口指数（生産年齢人口に占める老年人口の割合）

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$
- 従属人口指数（生産年齢人口に占める年少人口と老年人口の和）

$$\frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$
- 老年化指数（年少人口に占める老年人口の割合）

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

【図5 年齢3区分別人口(構成比)】

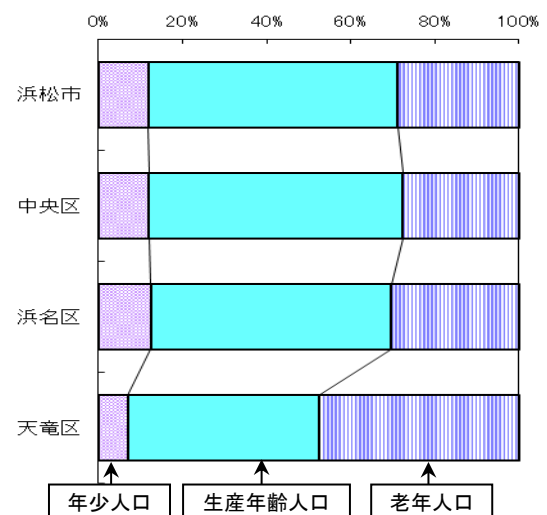


表5 年齢構成指数

区 分	令和5年	令和6年			
	浜松市	浜松市	中央区	浜名区	天竜区
年少人口指数	20.5	20.0	19.7	21.9	15.4
老年人口指数	48.4	48.7	45.9	53.2	104.6
従属人口指数	68.9	68.7	65.6	75.1	120.0
老年化指数	235.4	243.2	232.7	243.0	681.5

日本人住民の平均年齢は48.09歳で、前年の47.79歳より0.3歳上昇している。男女別にみると、男性は46.59歳（前年46.28歳）、女性は49.58歳（同49.29歳）で、ともに前年に比べ上昇している。

外国人住民の平均年齢は34.83歳で、前年の34.89歳より0.06歳低下している。男女別にみると、男性は33.48歳（前年33.56歳）で前年に比べ低下している。女性は36.22歳（同36.22歳）で、前年と同様である。

行政区別にみると比較可能な天竜区では日本人住民の平均年齢が58.03歳で、前年に比べて0.31歳上昇している。一方、外国人住民の平均年齢は36.22歳で、前年に比べて1.61歳低下している。

表6 平均年齢

【日本人住民】

令和5年				令和6年			
区別	男	女	合計	区別	男	女	合計
浜松市	46.28	49.29	47.79	浜松市	46.59	49.58	48.09
中央区	46.05	49.23	47.65	中央区	46.20	49.16	47.68
東区	45.17	47.81	46.48	浜名区	47.02	49.88	48.46
西区	46.86	49.71	48.30				
南区	46.21	49.33	47.75				
北区	47.45	50.58	49.03				
浜北区	44.96	47.57	46.27	天竜区	55.99	59.97	58.03
天竜区	55.68	59.67	57.72				

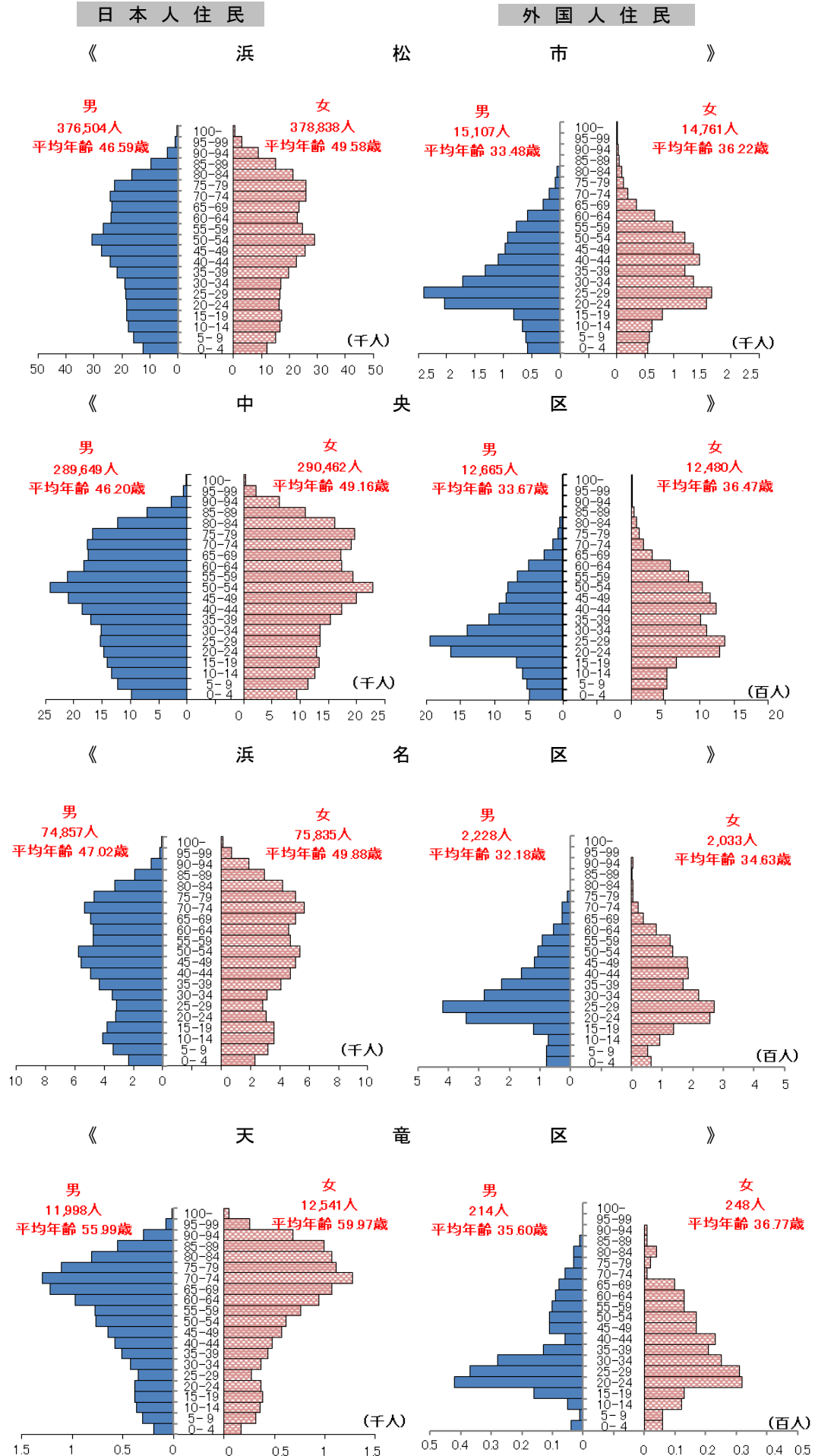
【外国人住民】

令和5年				令和6年			
区別	男	女	合計	区別	男	女	合計
浜松市	33.56	36.22	34.89	浜松市	33.48	36.22	34.83
中央区	34.35	37.30	35.86	中央区	33.67	36.47	35.06
東区	33.58	37.36	35.48	浜名区	32.18	34.63	33.35
西区	32.46	34.46	33.43				
南区	33.58	35.79	34.66				
北区	32.39	34.93	33.61				
浜北区	32.67	34.21	33.43	天竜区	35.60	36.77	36.22
天竜区	37.24	38.33	37.83				

人口ピラミッド(5歳階級)は、日本人住民において、50歳代前半(昭和45～49年生)の人口が多いことを表している。外国人住民は、20歳代後半(平成7～11年生)の人口が最も多い。

行政区別にみても概ねその傾向があるが、特徴的な区もある。浜名区の日本人住民人口は、他区に比べ年齢階級による凹凸が少ない。天竜区の日本人住民においては、70歳代前半(昭和25～29年生)の人口が最も多い。

【図6 人口ピラミッド(5歳階級)】



5 人口動態(令和6年1月～令和6年12月)

(1) 自然動態

令和6年1月から令和6年12月までの自然動態をみると、出生数は4,527人、出生率(人口1,000人当たりの出生数)は5.77‰(パーミル)である。これに対し、死亡数は10,055人、死亡率(人口1,000人当たりの死亡数)は12.81‰で、両者の差である自然増減数は5,528人減、自然増減率(人口1,000人当たりの自然増減数)は7.04‰減である。

前年と比較すると、出生数は228人減少し、死亡数は411人増加している。自然増減数は639人減少しており、16年連続の減少である。

行政区別にみると、出生数・死亡者数は中央区、浜名区、天竜区の順に多い。自然増減数はすべての区で減少しており、中央区、浜名区、天竜区の順で大きく減少している。

出生率が最も高いのは中央区、最も低いのは天竜区である。死亡率が最も高いのは天竜区、最も低いのは中央区であり、自然増減率が最も高いのは中央区、最も低いのは天竜区である。

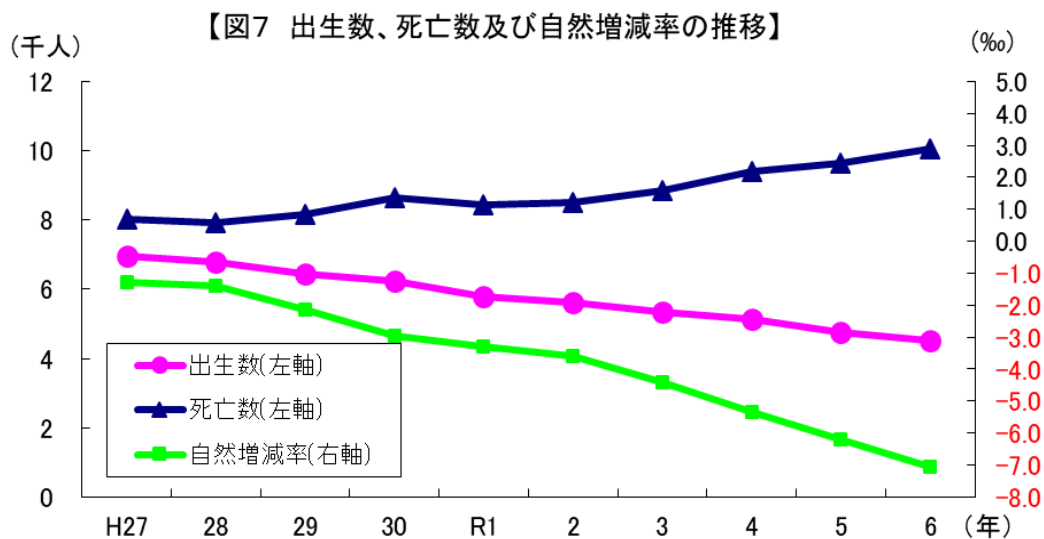


表7 自然動態

区 別	出 生			死 亡			自 然 増 減		
	総 数	出生率(‰)	前年比(%)	総 数	死亡率(‰)	前年比(%)	総 数	自然増減率(‰)	前年比(%)
浜松市	4,527	5.77	△ 4.79	10,055	12.81	4.26	△ 5,528	△ 7.04	△ 13.07
中央区	3,704	6.12	-	7,311	12.08	-	△ 3,607	△ 5.96	-
浜名区	771	4.98	-	2,133	13.77	-	△ 1,362	△ 8.79	-
天竜区	52	2.08	△ 18.75	611	24.44	△ 3.63	△ 559	△ 22.36	1.93
令和5年	4,755	6.02	△ 7.54	9,644	12.21	2.63	△ 4,889	△ 6.19	△ 14.93

(2) 社会動態

令和6年1月から令和6年12月までの社会動態をみると、転入者数は23,143人、転入率(人口1,000人当たりの転入者数)は29.47‰(パーミル)である。これに対し、転出者数は22,676人、転出率(人口1,000人当たりの転出者数)は28.88‰で、両者の差である社会増減数は467人増加となり、社会増減率(人口1,000人当たりの社会増減数)は0.59‰増である。

前年と比較すると、転入者数は744人、転出者数は43人ともに減少している。社会増減数は701人減少している。

行政区別にみると、転入者数・転出者数ともに中央区、浜名区、天竜区の順に多い。社会増減数は中央区で増加している一方、浜名区、天竜区では減少している。転入率・転出率ともに最も高いのは中央区であり、社会増減率は中央区、浜名区、天竜区の順に高い値となっている。

自然動態と社会動態を比較すると、本年は転入者数が多く、社会増減数は467人増加したが、自然増減数は5,528人減少となり、引き続き人口は減少している。

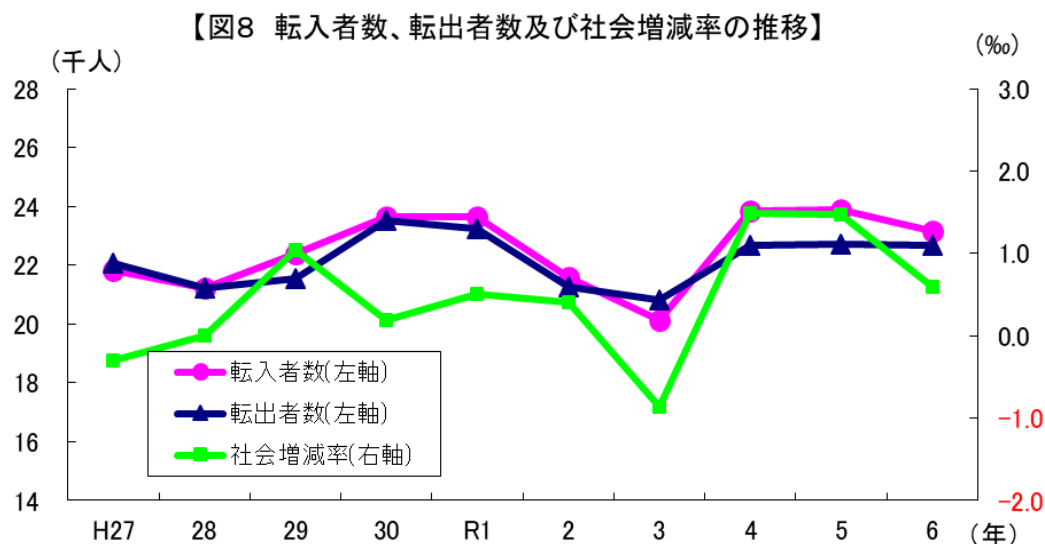


表8 社会動態(市外移動)

区 別	転 入			転 出			社 会 増 減		
	総 数	転入率(‰)	前年比(%)	総 数	転出率(‰)	前年比(%)	総 数	社会増減率(‰)	△は減少率 前年比(%)
浜松市	23,143	29.47	△ 3.11	22,676	28.88	△ 0.19	467	0.59	△ 60.02
中央区	19,716	32.57	-	19,213	31.74	-	503	0.83	-
浜名区	3,071	19.82	-	3,094	19.97	-	△ 23	△ 0.15	-
天竜区	356	14.24	△ 0.56	369	14.76	△ 12.77	△ 13	△ 0.52	80.00
令和5年	23,887	30.24	0.12	22,719	28.76	0.19	1,168	1.48	△ 1.27

6 人口移動状況(住民基本台帳・令和6年1月～令和6年12月)

令和6年1月から令和6年12月までの人口移動状況をみると、東海地方での出入りが最も多く、転入者は9,954人(構成比53.7%)、転出者は9,586人(同49.0%)である。以下、関東地方、近畿地方と続いている。

東海地方を県別にみると、転入者・転出者ともに最も多いのは静岡県で、東海地方における移動者の約6割を占めている。関東地方においては、転入者・転出者ともに東京都、神奈川県の順に多い。

大都市(東京都特別区部及び政令指定都市)別にみると、転入者は東京都特別区、静岡市、名古屋市の順に多く、転出者は東京都特別区、名古屋市、静岡市の順に多い。

全国でみると1,033人の転出超過であるが、北陸甲信越、東海、中国、四国に対しては転入超過である。東海地方においては368人の転入超過であるが、愛知県に対しては275人の転出超過である。

表9 地方別転入・転出者数

地 方	転 入				転 出				転 入 超 過 数 (△は転出超過数)		
	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	男	女
総 数	18,532	100.0	10,745	7,787	19,565	100.0	11,387	8,178	△ 1,033	△ 642	△ 391
北 海 道	218	1.2	143	75	282	1.4	183	99	△ 64	△ 40	△ 24
東 北	398	2.1	232	166	406	2.1	272	134	△ 8	△ 40	32
関 東	4,305	23.2	2,522	1,783	5,649	28.9	3,219	2,430	△ 1,344	△ 697	△ 647
北陸甲信越	799	4.3	451	348	709	3.6	452	257	90	△ 1	91
東 海	9,954	53.7	5,709	4,245	9,586	49.0	5,512	4,074	368	197	171
近 畿	1,363	7.4	801	562	1,610	8.2	927	683	△ 247	△ 126	△ 121
中 国	593	3.2	335	258	340	1.7	208	132	253	127	126
四 国	154	0.8	92	62	126	0.6	82	44	28	10	18
九州・沖縄	748	4.0	460	288	857	4.4	532	325	△ 109	△ 72	△ 37

注1) 住民基本台帳人口移動報告年報(基本集計)(総務省統計局)による。

注2) 東北地方: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地方: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸甲信越地方: 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

近畿地方: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄地方: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注3) 都道府県別・大都市別の転入・転出者数は、統計表6に掲載。

表10 東海地方県別転入・転出者数

県	転 入				転 出				転 入 超 過 数 (△は転出超過数)		
	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	男	女
総 数	9,954	100.0	5,709	4,245	9,586	100.0	5,512	4,074	368	197	171
静 岡 県	5,888	59.2	3,370	2,518	5,312	55.4	3,031	2,281	576	339	237
岐 阜 県	383	3.8	201	182	359	3.7	208	151	24	△ 7	31
愛 知 県	3,332	33.5	1,934	1,398	3,607	37.6	2,080	1,527	△ 275	△ 146	△ 129
三 重 県	351	3.5	204	147	308	3.2	193	115	43	11	32